

ミニ

地域防災拠点HUG訓練

～拠点の開設・運営(新コロ編)～

令和2年10月 フォローアップ訓練
金沢区役所総務課

1

【 目的 】

新型コロナウイルス感染症を踏
まえた開設・運営面での予防策
や課題を共有し、各拠点へ展開
すること。

2

【 ゲームの進め方① 】

- ① 避難所に必要な感染症対策にどう対応していくかを疑似体験します。
- ② 正解は1つとは限りません。
- ③ グループを代表して何度か回答してもらいます(心の準備を)。

3

【 ゲームの進め方② 】

《回答は付せんを使用します。》

- ① 対応策や場所の指定は付せんに記載して施設図面や間取図に貼付します。
- ② 設問には、まず各自で解答を考え、その後、各グループで意見交換します。
- ③ グループの意見を中央にあるA3の紙に貼付してください。

4

【地震の発生】

- ◇ 12月×日(月) 午後6時00分
- ◇ 元禄型関東地震が発生
- ◇ マグニチュード8.1 最大震度7



5

午後 6:00 (大地震発生)

- 運営委員のあなたと家族は無事。
- 自宅は窓が割れたが、建物は無事。
- 停電により、町内は真っ暗。
- 外を見ると、近所の家が倒壊している。
- ラジオによると、横浜市は最大震度7を観測したとのこと。



6

避難所の学校へ到着

- 地域防災拠点に行くと、学校職員、運営委員長と運営委員が数人いました。
- 古い木造家屋が多く倒壊しているが、マンションなどの建物被害は軽微であった。
- これらの状況と震度7であることから、早急に拠点を開設することで意見が一致しました。



7

【被害想定】

《金沢区》

- 揺れによる建物全半壊→8,791棟
- 液状化による建物被害→1,693棟
- 火災による焼失棟数→2,738棟
- 揺れによる死者→117人
- 揺れによる負傷者→191人
- 火災による死者→43人
- 火災による負傷者→69人

8

【 ゲームの条件① 】

《 ライフライン 》

- 電気→停電している（VPPあり）。
- ガス→遮断している。
- 水道→断水
- 電話→ほとんどつながらない。
- メール→遅れて届く
- 下水道→使用できるか不明

9

【 ゲームの条件② 】

《 避難所の拠点の被害 》

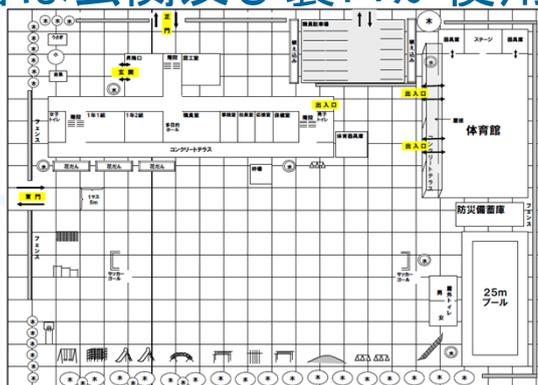
- 耐震化済のため、校舎と体育館には大きな被害がなく、施設点検の結果、利用ができる。
- 防災備蓄庫も被害はなし。

10

【ゲームの条件③】

《避難所の敷地図》配布資料参照

- ① 学校の出入口は正門及び東門
- ② 校舎は玄関及び裏口が使用可

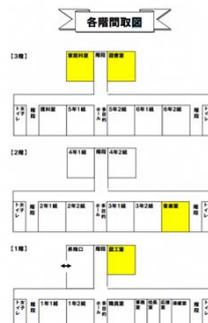
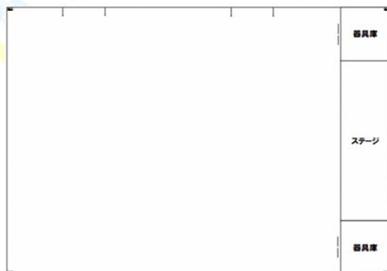


11

【ゲームの条件④】

《避難スペースの解放場所》配布資料参照

- ① 体育館
- ② 校舎の特別教室4部屋(事前調整済)
- ③ 上記以外は使用不可



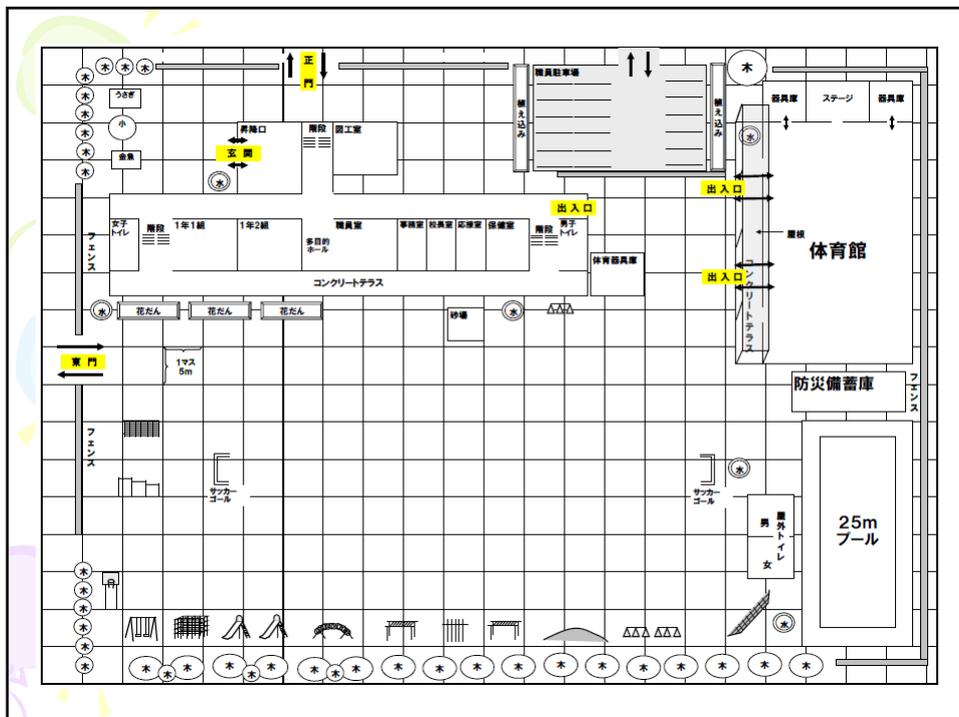
12

(設問1)

- 避難者が少しずつ校庭に集まってきました。
- 設置する受付は(検温・一般・体調不良等)の3箇所です。

受付場所を設置してください。

13



(設問2)

- 避難者が校庭に滞留しています。
- 体育館をレイアウトをする必要があります。

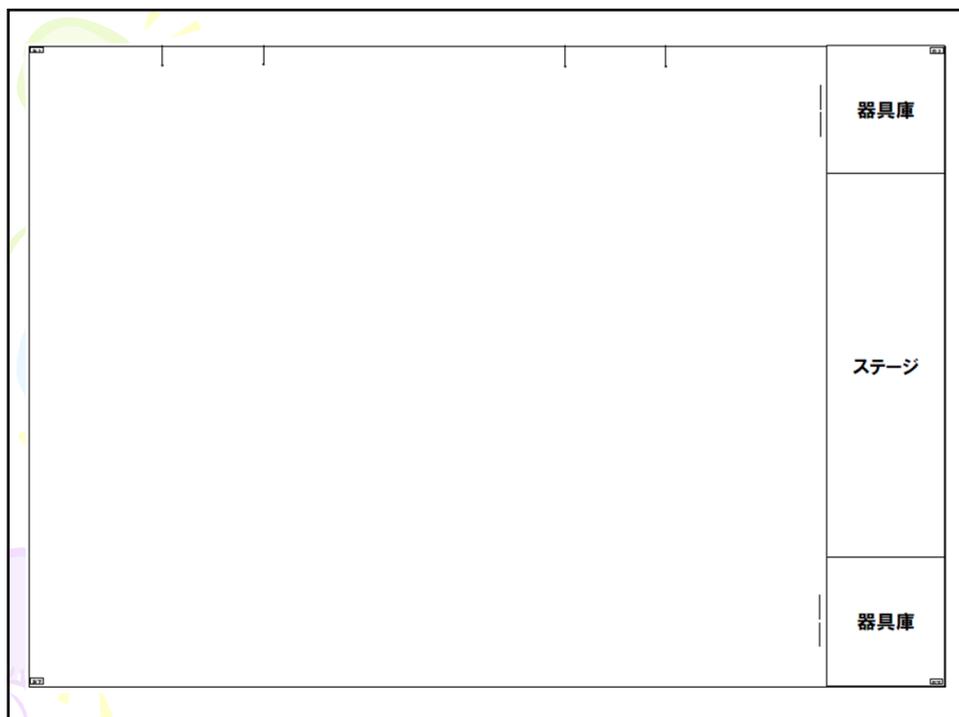
レイアウトに必要な情報を記載してください。

情報は何を記載しても構いません

※体育館の地図に付せん貼付

例) ステージ上は物資置き場、トイレに〇〇を設置、グループごとに区割りする等

15



(設問3)

- 受付場所は設定完了
- 濃厚接触者、体調不良者などの占用スペースを設ける必要があります。

専用スペースを設置してください。

注) 学校は開放済です。

17

